



プレスリリース

令和7年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

アルマヴィル地域教育備品整備計画 署名式の実施

エレバン：令和8年3月12日

令和8年3月12日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「アルマヴィル地域教育備品整備計画」（供与限度額：93,567米ドル）の署名式が、ヴァガルシャパット市庁舎（アルマヴィル州）で開催されました。本式典には、穴澤葉子在アルメニア日本国大使館参事官、リュドヴィグ・イエイロヤン・ヴァガルシャパット副市長、ソニヤ・ブダギャン・アルマヴィル州教育・スポーツ・文化局長、アニ・カラペチャン・非政府組織リーディング・チェンジ代表のほか、学校関係者が参加しました。

本計画は、アルマヴィル地域の中学校10校に教育備品（椅子1,135脚、机500台、本棚80台、黒板135台）を整備することにより、ナゴルノ・カラバフからの避難民286人を含む生徒2,409人と教職員358人の学習環境の改善を図るものです。対象校では、教育備品が20年以上にわたり更新されておらず、椅子の脚折れによる転倒や溶接部の破損による負傷のほか、机の天板が外れけがをする事故などが頻発していました。また、ナゴルノ・カラバフからの避難民の流入により対象校の受入負荷が増大したことで備品不足が一層顕在化しており、安全な学習環境の確保が求められていました。

カラペチャン代表は、「日本政府からのご支援により、アルマヴィル地域の子どもたちに安全で質の高い学習環境を届けることができます。供与いただく備品をしっかりと維持・管理し、地域の子どもたちの教育環境が長きにわたり守られるよう、責任を持って取り組んでまいります。」と謝意を述べました。また、穴澤参事官は、「新しい机や椅子を使う生徒の皆さんは、学校で一生懸命学び、そこで得た知識を、未だ学ぶ機会を持っていない人々のために役立て下さい。そのようにしてこそ、この事業の真の成果がもたらされます。アルマヴィル地域の子どもたちが学業に励み、この地域がさらに発展・繁栄し続けることを心から祈っています。」と述べました。



署名式の様子



祝辞を述べる穴澤参事官



謝辞を述べるイエイロヤン副市長



関係者の記念撮影
(右から穴澤参事官、イエイロヤン副市長、
ブダギャン教育・スポーツ・文化局長、
カラペチャン代表)